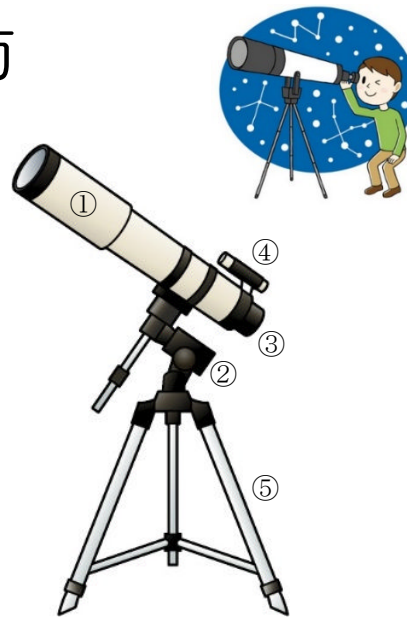


天体望遠鏡の使い方

1 天体望遠鏡※の部品の名前を覚えよう

右図の①～⑤の部品の名前は？※屈折望遠鏡の場合です

- ① 鏡筒 (きやうとう)
- ② 架台 (かだい)
- ③ 接眼レンズ (アイピース) (せつがん)
- ④ ファインダー
- ⑤ 三脚



2 天体望遠鏡の倍率を求めよう

倍率の求め方

$$\text{倍率} = \text{対物レンズの焦点距離(mm)} \div \text{接眼レンズの焦点距離(mm)}$$

例えば、600 mmの対物レンズの望遠鏡に 6 mmの接眼レンズを付けた倍率は、100 倍となります。

【－メモ】 適正倍率は、口径 (mm) の数値の半分くらい、最高倍率は、その倍くらいです。

口径：対物レンズの直径(mm)

3 天体望遠鏡の設置の仕方（基本操作）

(1) 三脚の設置

観察予定場所で安定した平らな場所を選びます。三脚の足を全て同じ長さに伸ばし、しっかり固定して立てます。(架台ができるだけ水平になるようにします。二名以上で行うと良いでしょう)

(2) 鏡筒やファインダーのキャップを外します。

(3) ファインダーの調整をします。(明るいうちに済ませましょう)

天体望遠鏡に低倍率の接眼レンズ(焦点距離の数値の大きいもの)を装着し、目標物が視野の中心になるよう架台を調整します。次に、ファインダーを覗いて、視野に見える十字線の交点の位置に目的物がくるよう、3本の調節ねじで調整します。

(4) ピントを合わせます。

最初に低倍率の接眼レンズ(焦点距離の数値の大きいもの)を装着し、ピント調整用のつまみを回して目標物にピントを合わせます。次に、高倍率の接眼レンズ(焦点距離の数値の小さいもの)に付け替えて、目標物にピントを合わせます。

<お願い>望遠鏡や接眼レンズの取り扱いは丁寧をお願いします。衝撃を与えたり雨などでぬらしたりすることのないよう、また、キャップや接眼レンズの部品等の紛失がないよう管理をお願いします。